

# 中之条で暮らす。 地域おこし協力隊



おおつか あきら  
**大塚 陽**

協力隊2年目。毎日車に乗る生活と前職からのギャップで運動量が激減し、無駄な肉は増えつつも筋肉が衰え、「痩せた?」と言われることもしばしば。このままではまずいので駅南にできたバク転教室に通おうか悩んでいる。



作品の最終チェック。全作品の会場を見て回ります。

中之条に住んで1年と数か月が過ぎました。地域によって訛りを感じる春の鶯、田圃に水を張ったとたんに大合唱が始まる梅雨の蛙、暑くなってもしつこく叫んでいる夏の雉…この町から聞こえてくる音で季節を感じるようになりました。

町民の皆さまから額縁や古着、木材や照明器具やクリスマスツリーなど本当に沢山の素材の提供をしていただきました本当にありがとうございました。皆様の協力があったことで初めて成り立つ作品が今年も沢山できあがりしました。

中之条ビエンナーレの開催年は沢山の作家が滞在制作にやっています。およそ1年前から連絡を取り合いながら準備を進めています。春からは実際に会場の下見や制作のために顔を合わせる機会が多くなります。直接会って制作現場の手伝いや打合せを行うことが増えてくると「ビエンナーレが始まるな」という実感が徐々に強くなります。こういった感覚は事務局で仕事をやる私だけではなく、町内に住んでいる方やボランティアで参加してくださる方の中にもこの日を楽しみに



会場にのぼりを立てて準備をします。



会場の清掃、もうすぐ始まります。

している方が多くいるようです。今年も例年のエリアから範囲を広げ、伊参地区は大道にも会場を増えました。また、六合は赤岩だけではなく引沼、根広まで会場を拡大し、毎回楽しみにしていたお客様も行ったことの無い会場が増えております。お客様には何度も町にきていただく機会となり、さらにこの町の魅力を多方面で見つける良い機会になることを願っています。

中之条ビエンナーレ開催まであと1か月。楽しみにしてくださいませているお客様はもちろん、町内の皆様にも興味を持っていただけるきっかけになったら嬉しいです。



中之条ビエンナーレ2025  
公式HP

問い合わせ 役場地域共創課 企画・デジタル戦略係  
☎75・8837 (直通)

地域おこし協力隊については、町ホームページ (ID1259) をご覧ください

